

長野県生コンクリート工業組合との懇談会を開催しました

令和元年11月25日



高見澤会長(左)と県生コン組合の山浦理事長

本年度も、砂利等骨材の主要な取引先である生コンクリート製造業者の県的な団体、長野県生コンクリート工業組合と懇談会を開催し、懸案事項である、「地産地消のさらなる推進」と「コストアップを反映した骨材購入価格の設定」を要望しました。また引き続き、県内の骨材の需給動向に関する意見交換を行いました。

10月の台風19号豪雨災害では、砂利・生コンともに生産工場が甚大な被害にあいました。今後、災害復旧・復興に向けて、両団体が連携し万全の態勢で臨むことを確認しました。

本会からは高見澤会長、片井、松田、太田各副会長が出席し、また県生コン組合からは山浦理事長、鷺澤、山田、中村各副理事長の出席をいただきました。